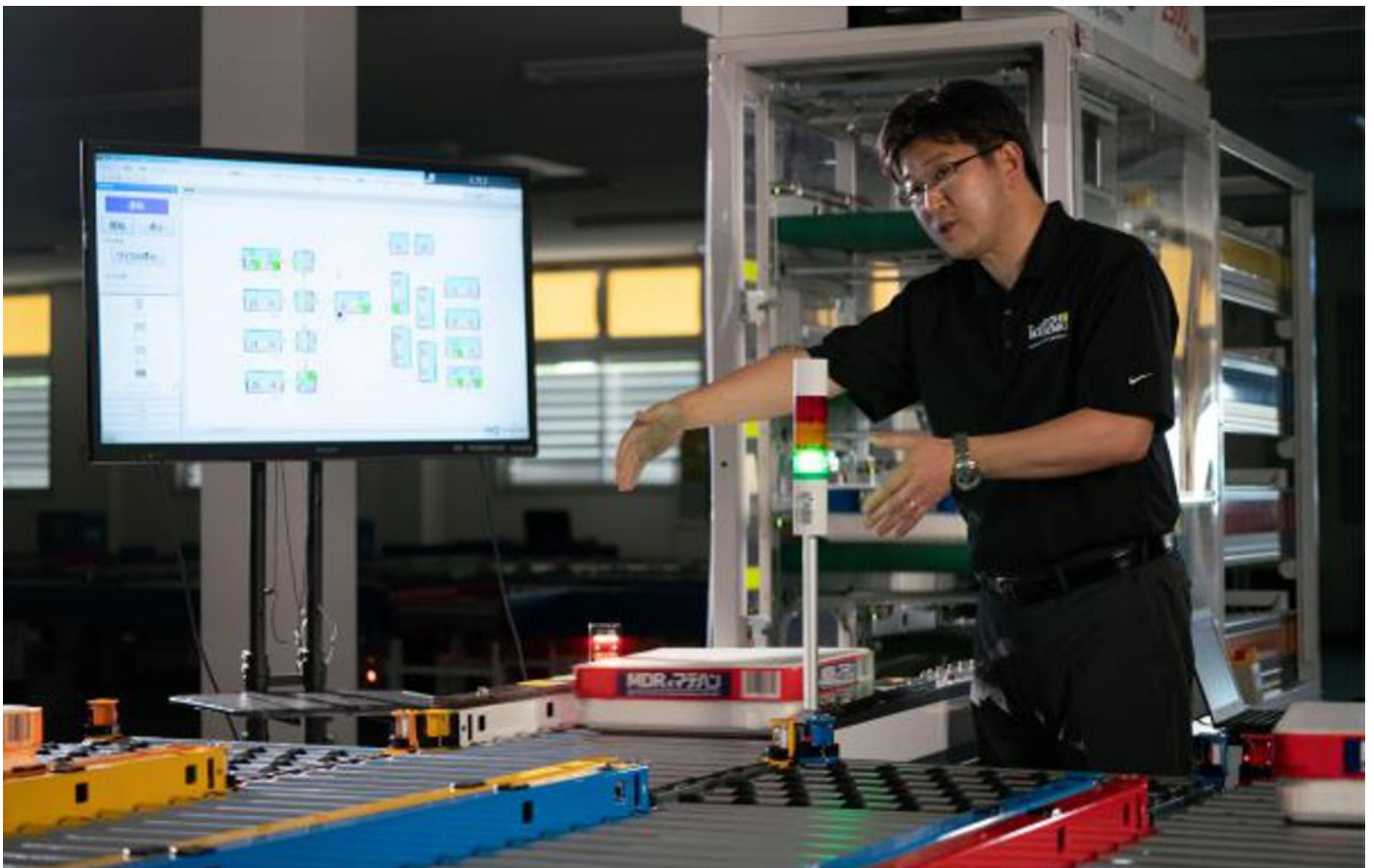


日本企業が物流の複雑さを取り除くプラットフォームを開発

顧客をサポートするプラットフォームの構築

新しい会社だけが物流の未来を築いているわけではありません。伊東電機は、モーター付きローラー（PowerMoller®）コンベヤシステムの設計と製造で既に世界のリーダーとなっておりましたが、産業用モーター・メーカーからプラットフォームサービスプロバイダーへと変貌を遂げています。「従来のコンベヤシステムは設計と組み立てが非常に複雑でした」と同社社長の伊東徹弥氏は説明します。「実際、専門エンジニアの不足が深刻なボトルネックでした。これが、プラグ&プレイ設計により、組み立てを非常に簡単にする新しい id-PAC コンベヤプラットフォームを開発した理由です。」id-PAC は革新的な物流自動化プラットフォームであり、コンベヤ輸送制御のための直感的なソフトウェアによって制御される標準化されたコンベヤモジュールを組み合わせています。



伊東電機の伊東徹弥社長は、コンベヤの設計、設置、メンテナンスにかかる時間を大幅に節約する革新的な id-PAC 物流自動化プラットフォームについて説明する。

世界を形作っている変化を理解する

id-PAC の開発は、伊東電機のそれまでの製品ラインの抜本的な見直しを意味していますが、それは、多くの企業が人間の労働者に代わるソリューションのためのスマートテクノロジーに目を向けており、日本と世界がどのように進化しているかを理解することによって導かれた動きでした。「我々はしばらくの間、ソフトウェアソリューションを調査し、現在どのような技術的進歩がそれを可能にしているかを見つけたとき、我々の進路は決まりました」伊東氏は続けます。「我々の顧客はその可能性に気付いておりませんでした。我々は顧客が直面する課題の多くを理解していました。その結果、私たちのようなシステムは他のどのメーカーにもありません。」

明日へ向けて

日本は何千社もの中小企業の本拠地であり、ロジスティクスとサプライチェーン管理のためのスマートなソリューションを開発する技術の境界を押し広げています。それらを結びつける共通の要素の 1 つは、技術革新を社会的課題の解決に適用できる未来へのビジョンです。彼らは、国際的な見通しと、彼ら自身の深い経験と顧客のニーズの理解から得られた洞察とを組み合わせています。「我々の情熱は常に開発すること、そして常に物事を改善するための新しい可能性を模索することにあります。」と伊東氏は言います。「新しい機会が現れるにつれ、我々は常にロジスティクスプラットフォーマーとして広がりを見せる方法を探求するのです。」

注) 上記は、Forbes 掲載 Web ページの伊東電機紹介部分を、独自に翻訳したものです。